



<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/4216/htdocs/>

第11回南那珂地区中学校総合体育大会 結果

部活動生にとって最大の大会が終わりました。そして、本城中学校にとっても最後の夏の大会となりました。生徒の皆さんは、大会を通し様々なことを学んだことと思います。

特に野球競技においては、本城中学校の歴史に残ると同時に中学校軟式野球の歴史に語り継がれるであろう試合となりました。第一試合の飢肥中戦では、9回まで0-0とどちらも譲らない延長戦となりました。9回裏2アウト2塁から1番 瀬戸内 君のツーベースヒットでサヨナラ勝ちとなりました。

第2試合は吾田中と当たり、これまた9回まで0-0とどちらも譲らない展開となり、10回目から特別延長戦に入りました。特別延長戦とは、ノーアウト満塁から戦いあうもので、サッカーのPK戦のようなものです。

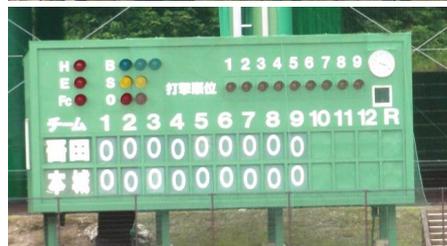
惜しくも、1-2で敗れるという結果になりましたが、19イニングス(220球以上)投げきった鍋倉 投手は、球場の誰からも惜しめない拍手を浴びていました。

部活動には、目標と目的があります。目標とは「いつまでに、どういう結果を出すか」というゴールを意味し、目的とは「なぜ・何のためにその部活動をするのか」という理由や意義のことです。部活動意義は、余暇の善用と趣味・個性の伸長を図るとともに身体的、及び精神的にも強い意志のある人間を育成するとともに、規則を守り礼儀正しい人間を育成することと、単に技能だけを高める場ではなく、お互い協力し助け合い、社会的にも豊かな性格をつくる場であるといわれています。

今回の大会で本校の生徒は、様々なことを経験し、学んだようです。チーム内においては、上級生としての責任感やリーダーシップ、下級生としてのチーム貢献やチームに迷惑をかけないプレーができるよう努力する心・・・等

また、他の学校の生徒ともお互いが最高のプレーができるよう助け合ったり、協力し合う姿を見ることができました。その経験は、間違いなくスポーツマンシップの神髄に近づいたことになると確信します。

生徒会スローガン「軌跡～最後のページ～」のとおり、今大会が本城中の歴史に燦然と輝く1ページになったことは間違いありません。



大会結果	
軟式野球	惜敗 対 飢肥中 1:0 対 吾田中 1:2
卓球 (個人2名)	予選敗退
バドミントン (個人1名)	予選敗退



※ 6月18日(土)の第11回南那珂地区地区中学校総合体育大会陸上競技には、1年生吉田 大斗 君が100m走に出場します。応援よろしくお願ひします。

空を見上げよう

日本人は、7月7日を七夕と名付け、夜空を見上げる日にしました。

琴座のベガと呼ばれる織女(しゅくじょ)星は裁縫の仕事、鷲(わし)座のアルタイルと呼ばれる牽牛(けんぎゅう)星は農業の仕事をつかさどる星と考えられていました。この二つの星は、旧暦7月7日に天の川をはさんで最も光り輝いているように見えることから、中国でこの日を一年一度のめぐりあいの日と考え、七夕ストーリーが生まれました。

♪ ささの葉さらさら のきばにゆれる
お星様きらきら きんぎん砂子

五しきのたんざく わたしがかいた
お星様きらきら 空からみてる ♪

久しぶりに「たなばたさま」の歌を口ずさんだら、夜空を見上げ、天の川を探してみたくくなりました。



When you wish upon a star

(星に願いを)は、1940年のディズニー映画『ピノキオ』の主題歌としてジミニー・クリケット(コオロギ)が歌いました。

七夕の時期が近づくといつも思い出す映画があります。それは、「未知との遭遇」で1977年にアメリカで封切られました。



右の写真が当時のポスターで、キャッチコピーが **We are not alone** 「宇宙にいるのは、われわれだけではない」でした。

もしかしたら、この宇宙には、たくさんの文明が栄え、宇宙人がUFOに乗って地球に来てくれるのではないか。その時に、地球人は、優しく迎え入れることができるのか。そういった内容のものでした。

この映画の最後では、山ほどもあるようなUFOの母船が現れ、一人の心優しい地球人を母船に乗せ宇宙へと飛びたちます。真っ暗な宇宙の中を光り輝くUFOが、静かに宇宙の彼方へ飛んでいきます。その時に流れた音楽が、**When you wish upon a star** 「星に願いを」です。

もうすぐ7月になります。本城中での学校生活も残り9ヶ月です。しっかり自分自身を見つめてみてはどうでしょうか。心は脳の中にあります。脳は、約140億個の細胞からできています。いわば、脳そのものが一つの宇宙と考えても過言ではありません。

そして、空を見上げることをお勧めします。空を見上げることは、自分を見つめることと同じであると思うことがよくあります。

